沿岸各地の水温

（8月6～10日）

日 本 海　　25 ℃台　　津 軽 海 峡　21 ～ 22 ℃台

陸 奥 湾　22 ～ 24 ℃台　　太 平 洋　19 ～ 20 ℃台

今回は全地域で昇温し、特に蛇浦で+2.7 度、茂浦で+2.9 度昇温しました。平均前回差は+1.6 度となりました。

昨年と比べると、日本海側が+0.8 度、津軽海峡側が+1.0 度、陸奥湾内が+1.1 度、太平洋が+0.1 度で、平均昨年差は+0.6 度となっています。

平年と比べると、日本海・陸奥湾でやや高め、津軽海峡・太平洋で平年並みで、平均平年差は+0.6 度となっています。

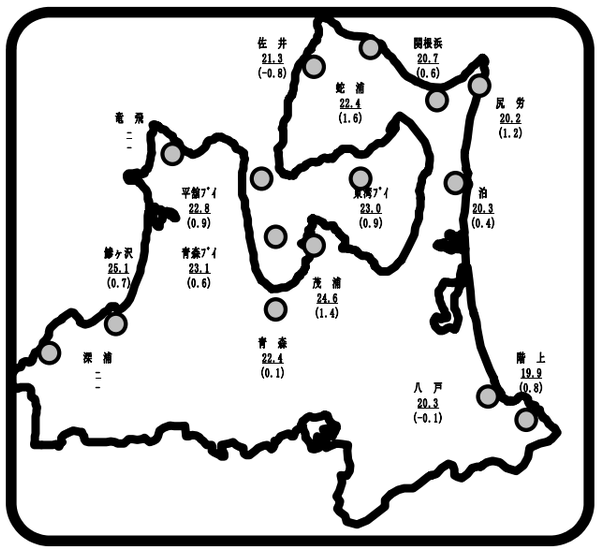
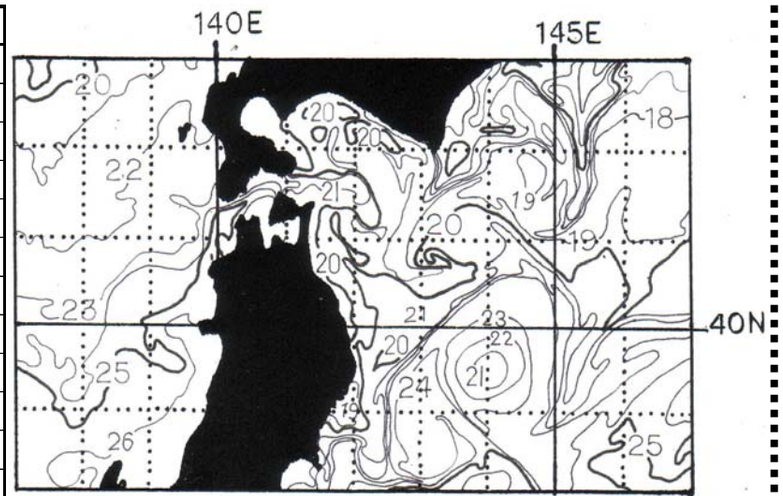


図　定地水温（8 月 6～10 日）

平均値（平年差）ブイ 1ｍ

	水温	平年差	昨年差	前回差
深 浦	－	－	－	－
鰺ヶ沢	25.1	+0.7	+0.8	+1.4
竜 飛	－	－	－	－
佐 井	21.3	−0.8	−0.2	+0.2
青 森	22.4	+0.1	+1.2	+1.1
蛇 浦	22.4	+1.6	+2.2	+2.7
関根浜	20.7	+0.6	+1.3	+2.6
尻 労	20.2	+1.2	+0.8	+1.2
泊	20.3	+0.4	+0.5	+1.7
八 戸	20.3	−0.1	−0.0	+2.1
階 上	19.9	+0.8	+1.1	+2.3
茂 浦	24.6	+1.4	+1.2	+2.9
平舘ブイ	22.8	+0.9	+1.1	+1.5
青森ブイ	23.1	+0.6	+0.9	+1.1
東湾ブイ	23.0	+0.9	+1.1	+1.3
平 均	22.1	+0.6	+1.2	+1.6



資料：（社）漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報　第 38 号　8 月 11 日

◎平成 20 年度第 1 回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

7 月 31 日、標記の予報が水産庁（(独)水産総合研究センター中央水産研究所）からプレスリリースされました。

●マイワシ太平洋系群（房総～道東：まき網、定置網）

(1)来遊量：漁獲の主体となる 1 歳魚は、前年を下回る。2 歳魚は前年を下回る。3 歳魚以上は少ない。全体として前年を下回る。12 月以降漁獲対象となる 0 歳魚はカタクチイワシへの混獲程度。

(2)漁期・漁場：8 月は常磐北部～仙台湾、9～10 月は仙台湾～三陸南部、11～12 月は仙台湾～房総海域が漁場となる可能性があるが散発的。三陸北部以北～道東海域への来遊は依然として低水準。

(3)魚体：8 月は 18cm 前後、9～10 月は 19cm 前後の 1 歳魚主体。8 月は 20cm 前後、9～10 月が 21cm 前後の 2 歳魚並びに 22cm 前後以上の 3 歳魚も混じるが少ない。12 月以降漁獲対象となる 0 歳魚は 12～13cm 前後。

●カタクチイワシ太平洋系群（房総～道東：まき網、定置網）

(1)来遊量：低水準の前年並み。

(2)漁期・漁場：1 そうまき漁場は 12 月以降に常磐～犬吠埼周辺に形成される。道東のまき網は 9～10 月。仙台湾～三陸の定置網は全期間。常磐の小あぐり・房総沿岸の 2 そうまきは全期間。

(3)魚体：常磐の小あぐり、房総の 2 そうまきは 6～10cm 台の 0 歳魚主体。1 そうまきは 12～13cm 台の 1 歳魚主体。三陸の定置網では 13cm 前後の 1 歳魚主体。道東のまき網では 9～10cm の 0 歳魚主体。

●マサバおよびゴマサバ太平洋系群（犬吠～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

(1)来遊量：マサバ 0 歳魚は前年を下回る。1 歳魚は前年を上回る。2 歳魚は前年を下回る。3 歳魚は前年を大きく下回る。4 歳魚は前年を上回る。マサバとしては前年並。ゴマサバ 0 歳魚は前年を下回る 1 歳魚は前年を上回る。2 歳魚は前年並の低い水準。3 歳魚は前年を下回る。4 歳魚は前年を上回る。ゴマサバとしては前年を下回る。サバ類全体としては前年並～下回る。

(2)漁期・漁場：定置網は期を通じて漁獲される。まき網は、マサバ主体で、8 月は三陸北部～道東海域で漁場が形成される。9 月は金華山周辺でも漁場が形成される。10 月には三陸～常磐海域に漁場が広がる。11 月は三陸～犬吠海域となるが、主漁場は常磐以南。12 月には常磐～犬吠海域に漁場が形成され、犬吠海域が主漁場となる。また、期前半には常磐～犬吠崎沖でゴマサバ 1、4 歳魚を主体とした漁場も形成される。

(3)魚体：マサバは 25～28cm(1 歳魚)が主体となり、これに 35cm 以上(4 歳魚)が混じる。29～36cm(2、3 歳魚)も漁獲される。期後半に 19～25cm(0 歳魚)が漁獲される。ゴマサバは。30cm 前後(1 歳魚)主体にマサバに今核される